



◆第1回進路ガイダンスが行われました！

5月24日(火)全校一斉の第1回進路ガイダンスが行われました。今回は、就職・進学分科会、進路講話ともに感染対策をとったうえで対面により実施しました。

進学分科会では、2年次から4年次の進学希望者が、一人2校から説明を受けました。同じ分野でも大学と専門学校の違い、各学科で学ぶことができる詳しい内容や学費のことなど、これからの志望校選びの情報を得ることができたのではないのでしょうか。

◇進学分科会の感想を紹介します。

「学費や学んだ内容をどう生かすことができるか等、ためになる話を多く聞くことができた。自分が将来やりたいことを意識して、どんなことをする必要のあるのかについて、しっかり考えて後悔しないようにしたい。」

「複数の学校のオープンキャンパスに行った方が良いことを知ることができた。早いうちからの準備や行動が大切だとわかった。」

「先生も気軽な感じで話しかけてくださり、気になることや思っていることを楽に話せることができた。大学の授業やオープンキャンパスの雰囲気だったり、各学科の違いや共通部分だったり、入試についてなど詳しく知ることができ、自分の進路研究をしていくうえで、とても良い時間だった。きょうの進路ガイダンスの情報も参考にして決めていきたい。」



就職分会では、2年次から4年次の就職希望者が、一人3社から説明を受けました。企業の説明に加えて、各企業が大切にしていること、就職して仕事をするうえで大事にすべきことなど、就職を考えている皆さんにとって、大変有意義な時間になったと思います。

◇就職分会の感想を紹介します。

「一度見学に行ったことのある会社でも、知らなかったことや多くのことを知ることができた。接客やサービスをするにあたっては、どのような接客サービスをしたいのかを考えてみるとよいとおっしゃっていただき、自分の気持ちを見つめ直すために考えてみようと思った。」

「会社ごとに指針が違っていて、各々が、何が大切なのか、どのように向き合っているのかを知って、自分の考えに新しい視点が出てきたように感じた。今回学んだことをどのように生かすかを考え、将来のために今できることを意識して生活したい。」

「できない人が本気で挑戦し続けるとチャンスが来ると信じて、辛いことから目を背けずに本気になれるかが大切であること、何をするかより、どんな想いでするかで仕事の価値が決まってくるという話が心に残った。」



(裏面もご覧ください。)

1年次の進路講話は、「夢がなくても大丈夫」というテーマでしたが、「夢があるから大変なことでも乗り越えられる。夢があるから楽しむことができる。」という話がありました。また、「自分が自分でどうなりたいかを定める。…この時間も、“これからの未来を皆さんに皆さんの人生を歩んでもらうために役に立つ話をしたい”という



想いで準備しましたが、必ず役に立つという気持ちで聞くかどうかは、自分で決めることになる。」ことなど、これから進路を考える上で大切にすべきことをかみ砕いて、熱く話していただきました。

1年次の皆さんも、話をしっかり聞いて自分のために吸収しようという姿勢が感じられ、充実した時間になったのではないのでしょうか。感じたこと、気づいたことを少しずつ実践して欲しいと思います。

◇進路講話の感想を紹介します。

「講師の先生がすごく面白くて、とても良い話を聞いたなと思いました。自分はまだ夢がなく、探している途中なので、「夢がなくても生きていけばよい。自分の人生は自分で決める。」という言葉がすごく響いたのでよかったです。」

「自分の将来は自分で決めるというお話がとても心に響きました。遅れても、これからの人生を楽しく生きるために夢(目標)を探したいと思いました。また、高校生活の中で夢(目標)のための準備を可能な限りしていきたいと思いました。」

「きょうは夢に向かって進むことで人生を豊かにすることができるという前向きな人生観を聞くことができ自分の視野が広がったように感じました。大変ためになりました。」

「自分のしたいことは他人に決められたりしないで、したい仕事に向けて、勉強する分野を広げていきたいと思いました。ここで終わりって区切りをつけず努力して前に進みたいと思いました。」

「変わりたいと思ったら、今までどおりではだめ」という言葉にハッとしました。当たり前なことだけど、とても自分の中に響きました。とても良い経験になりました。」

